

公の施設の管理運営について

問 大綱の策定にあたり、主要課題として取り組むのか。また、指定管理者制度への基本的考え方は

答 大綱で制度を含め、公の施設管理について検討します。市が管理する施設と、委託する施設に区分して、市民の皆様が利用しやすい施設管理を致します。

企業誘致について

問 企業誘致を確実に推進する為に、庁内にプロジェクトチームを組むなど、総合的に検討をして誘致戦略を立て、進出を希望する企業のニーズに、即対応できるような企業誘致を積極的に進めていくべきと考えるが

答 企業誘致を円滑に推進す

御前崎地区の公共下水道事業について

るために、庁内に「御前崎市企業立地推進委員会」を設置して、情報の共有化や連絡調整を十分に図りながら、総合的に推進してまいります。

行政組織について

問 荒廃農地を防ぐ為にも、大型乗用茶刈機導入による小規模農道を改良する事は、農業政策から必要であります。行政組織として、農政全般は農政部署で行うべきではないか。また、行政改革に伴う行政組織全般の業務内容と職員の見直しは

答 農業土木関係事業は、一般町道と同様に建設課の所管とした。市の行政組織については、今後も地方分権が進む中、職員配置を含め、適切に対応する必要があります。ご質問の点についても併せて検討してまいります。

浜岡地区は、公共下水道事業並びに農業集落排水事業を計画的に推進し、ほぼ完備しつつあります。御前崎地区は、平成5年から2カ年かけて公共下水道概略基本計画を策定し検討してきました。しかし、計画予定地の変更等の課題があり、再検討が必要となりました。その結果計画については、一時凍結しました。しかし「今後も必要不可欠な事業であり、重要課題として引き続き取り組んでいく」ことであります。今後、御前崎地区の公共下水道事業についてどのように考えているのか。また、今後の方向性は

答 旧御前崎町における生活排水処理につきましては、

「平成5年から公共下水道計画を検討したが、当面は、合併浄化槽で環境浄化を推進する。しかしながら、宅地化が進む地域では改善の必要があるので、新市の将来計画の中で再検討をお願いしたい」旨の引継ぎを受けています。御前崎地区は、漁業や観光等の産業面からも水質の保全是欠くことのできないものであり、下水道整備に取り組む必要があると思います。現在進めております浜岡地区下水道計画も先の見通しが見えてきましたので、御前崎地区下水道計画につきましても、改めて財政面も含め整備手法など関係部署を中心に検討を進めてまいります。そして、その検討結果をふまえて適時議会の皆様、市民の皆様のご意見を伺いながら具体化に取り組んでいきます。